平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場会社名　美濃窯業株式会社　　上場取引所　　名
コード番号　5356　　URL　http://www.mino-ceramic.co.jp/
代表者　　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 太田　滋俊
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部門管掌兼総務部長　　(氏名) 中尾　晴一朗　　TEL 052-551-9221
四半期報告書提出予定日　　平成23年2月10日
配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	6,107	10.1	322	373.9	415	252.1	177	767.2
22年3月期第3四半期	5,549	△18.9	68	△76.8	118	△61.9	20	△71.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	17.35	―
22年3月期第3四半期	2.00	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	11,491	6,381	51.3	574.46
22年3月期	10,785	6,309	54.0	567.72

(参考) 自己資本　　23年3月期第3四半期　5,893百万円　　22年3月期　5,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	―	2.50	―	2.50	5.00
23年3月期	―	2.50	―		
23年3月期(予想)				2.50	5.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,350	2.2	310	149.7	400	109.2	90	―	8.77

(注)当四半期における業績予想の修正有無　有

4. その他　（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	12,909,828株	22年3月期	12,909,828株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	2,650,798株	22年3月期	2,649,733株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	10,259,816株	22年3月期3Q	10,257,837株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.　当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
2.　その他の情報 …… 3
(1) 重要な子会社の異動の概要 …… 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
3.　四半期連結財務諸表 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書 …… 6
(3) 継続企業の前提に関する注記 …… 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

1.　当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策を背景に一時は回復基調を見せたものの、雇用情勢は依然として厳しく、長引くデフレや円高の影響に加え、景気刺激策も一巡したことなどから秋口以降足踏み状態となり、引き続き先行き不透明な状況が続きました。

主要顧客であるセメント業界においては、公共事業、建設投資の低迷から依然として低い生産水準が続いており、また民間設備投資も弱含みで推移するなど、未だ内需の力強い回復、伸張が期待できない状況にあり、当社事業にとっては厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社グループは今期目標必達へ向け営業活動を強化するとともに、将来へ向けての事業基盤を再構築すべく、各分野において新しい市場ニーズを的確に捉え、素早く対応できる体制の確立に引き続き努めてまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は6,107百万円（前年同期比10.1％増）、営業利益は322百万円（前年同期比373.9％増）、経常利益は415百万円（前年同期比252.1％増）、四半期純利益は177百万円（前年同期比767.2％増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

［資産の状況］

流動資産は、現金及び預金の増加、たな卸資産の増加などにより、全体としては8,258百万円（前連結会計年度末比749百万円増）となりました。固定資産は、投資有価証券の時価評価による減少などにより、全体としては3,232百万円（前連結会計年度末比43百万円減）となりました。その結果、資産合計では、11,491百万円（前連結会計年度末比706百万円増）となりました。

［負債の状況］

流動負債は、支払手形及び買掛金が増加したことなどにより、全体としては3,704百万円（前連結会計年度末比521百万円増）となりました。固定負債は、退職給付引当金の増加などにより、全体としては1,404百万円（前連結会計年度末比111百万円増）となりました。その結果、負債合計では、5,109百万円（前連結会計年度末比633百万円増）となりました。

［純資産の状況］

純資産は、利益剰余金の増加などにより6,381百万円（前連結会計年度末比72百万円増）となり、自己資本比率は51.3％（前連結会計年度末比2.7％減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第３四半期累計期間における業績の状況を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成22年５月13日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細は、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2.　その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一般債権の貸倒見積高の算定

当第３四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

（資産除去債務に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ660千円減少し、税金等調整前四半期純利益は43,466千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は43,403千円であります。

②表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

１「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用に伴い、当第３四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

２　前第３四半期連結累計期間において、特別利益の「その他」に含めて表示しておりました「固定資産売却益」は重要性が増したため、当第３四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第３四半期連結累計期間の特別利益の「その他」に含まれる「固定資産売却益」は32千円であります。

3.　四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,477,393	2,126,435
受取手形及び売掛金	3,215,524	3,494,647
有価証券	109,655	8,809
たな卸資産	2,249,785	1,625,402
その他	220,019	266,554
貸倒引当金	△13,609	△12,248
流動資産合計	8,258,768	7,509,602
固定資産		
有形固定資産	1,512,450	1,555,980
無形固定資産	58,336	44,679
投資その他の資産		
投資有価証券	880,955	1,032,162
その他	823,639	683,238
貸倒引当金	△43,029	△40,577
投資その他の資産合計	1,661,565	1,674,823
固定資産合計	3,232,352	3,275,483
資産合計	11,491,121	10,785,085
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,908,193	1,489,373
短期借入金	880,000	1,030,000
未払法人税等	163,627	12,414
賞与引当金	105,811	199,040
役員賞与引当金	2,001	4,200
製品保証引当金	23,437	19,400
工事損失引当金	27,658	22,398
その他	593,903	406,046
流動負債合計	3,704,631	3,182,872
固定負債		
社債	400,000	400,000
退職給付引当金	623,512	577,749
役員退職慰労引当金	209,676	204,178
資産除去債務	43,595	―
その他	127,964	111,279
固定負債合計	1,404,748	1,293,207
負債合計	5,109,380	4,476,079

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	877,000	877,000
資本剰余金	419,519	419,519
利益剰余金	5,108,639	4,978,020
自己株式	△597,218	△597,032
株主資本合計	5,807,940	5,677,506
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	85,458	147,335
評価・換算差額等合計	85,458	147,335
少数株主持分	488,342	484,164
純資産合計	6,381,741	6,309,006
負債純資産合計	11,491,121	10,785,085

(2) 四半期連結損益計算書
【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）
売上高	5,549,022	6,107,990
売上原価	4,430,927	4,688,590
売上総利益	1,118,095	1,419,400
販売費及び一般管理費	1,049,942	1,096,440
営業利益	68,152	322,959
営業外収益		
受取利息	1,824	2,591
受取配当金	17,650	17,519
補助金収入	33,196	75,426
その他	13,027	13,004
営業外収益合計	65,699	108,541
営業外費用		
支払利息	15,259	13,567
その他	494	2,169
営業外費用合計	15,754	15,736
経常利益	118,097	415,764
特別利益		
固定資産売却益	－	70,194
投資有価証券売却益	4,641	361
工事損失引当金戻入額	9,346	394
その他	3,452	16,521
特別利益合計	17,439	87,470
特別損失		
投資有価証券評価損	39,649	47,440
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	42,806
退職給付制度改定損	－	40,837
その他	2,096	8,607
特別損失合計	41,746	139,691
税金等調整前四半期純利益	93,790	363,543
法人税、住民税及び事業税	24,506	186,973
法人税等調整額	31,719	△7,491
法人税等合計	56,225	179,481
少数株主損益調整前四半期純利益	－	184,061
少数株主利益	17,041	6,084
四半期純利益	20,523	177,977

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日)

該当事項はありません。